

水道本管と一般の消防用設備（屋外消火栓設備等）で豊富な実績を持つエスロハイパーが

## 石油コンビナート等の 消火用屋外給水施設にご使用いただけます。



認定書

- 日本消防設備安全センターの性能認定を取得した品種（呼び径50～200）が使用できます。
- 呼び径250以上等、認定取得外の品種は、別途申請が必要となりますので、ご相談ください。

呼び径	認定番号
50	PL-032号
75	PL-024-1号
100	PL-023-1号
150	PL-025-1号
<b>NEW</b> 200	PL-036号



### 特長

- 耐震性** 高性能ポリエチレン管の高い柔軟性とEF接合により、地震に強い一体管路を構築します。
- 耐食性** 酸性、アルカリ性土壌でもOK。電食の心配もありません。
- 施工性** 軽量なため取り扱いやすく、施工効率がアップします。

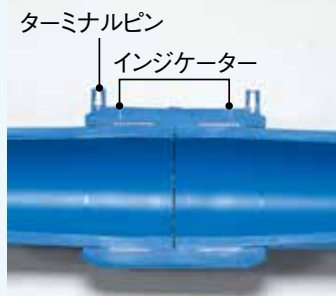
### ポリエチレン管は 錆びなし!漏れなし!

### 優れた長期耐久性

- 50年クリープ強度（内圧クリープ性能）
- 耐脈動水圧性能

#### 接合は確かな信頼性のEF接合

管の接合はEF接合方式を採用しているため、管と継手が一体化します。

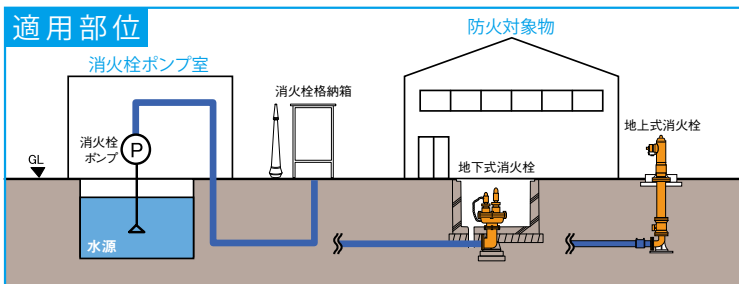


#### 継手接合部の腐食なし!



● 鋼管接合部の腐食

#### 適用部位

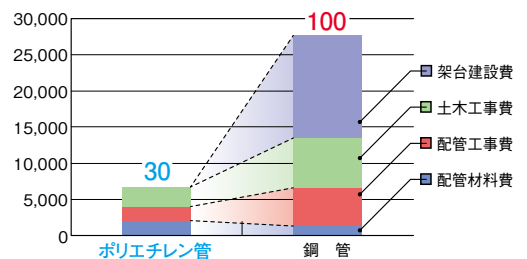


▲注意 防火区画貫通箇所や火災時に熱の影響を受ける恐れのある場所ではご使用できません。

屋内消火配管埋設用途・湿式スプリンクラー配管埋設用途・  
湿式泡消火設備埋設用途（※消火剤混合装置の一次側で水管に限る）  
湿式水噴霧配管埋設用途にもご使用いただけます。

#### コスト比較（100m敷設した場合の材工で試算（呼び径200））

※工事費は公共建築工事積算基準参照  
※材料費は建設物価相当で試算



※架空配管におけるラック高さは、5mとした。

神社・仏閣の消火栓設備でも採用実績が増加しています!



# 石油コンビナート等災害防止法 省令改正の概要

義務化

## 消火用屋外給水施設の 漏水検査が義務付けられました

石災法に関わる消火用屋外給水施設の  
定期点検実施方法の一部改正について

(消防特第50号：平成26年3月31日) 平成27年4月1日より施行

40年を経過した配管・ポンプは締切圧力を加え10分間静置し変形、損傷、漏水が無いかを点検する

## 消火用屋外給水施設に 合成樹脂配管(高密度ポリエチレン管)が 使用可能になりました

石油コンビナート等における  
特定防災施設等  
及び防災組織に関する省令等の改正

(消防特第160号：平成27年10月1日)

### 改正前

配管は鋼製である事。地上に設置されている事。



### 改正後

配管は鋼製又は**合成樹脂製**である事。鋼製の管、継手及びバルブ類等は、地上に設置。  
**合成樹脂製の管及び管継手は、火災の熱等の影響を受けないように設置する  
(埋設に使用可能)**

### ■ポリエチレン管と鋼管の比較

		ポリエチレン管	鋼管
材 料	仕 様	ポリエチレン(樹脂)	鉄(金属)
	長 所 短 所	<ul style="list-style-type: none"> <li>錆びない(○)</li> <li>➡ 防食等のメンテ不要</li> <li>比較的安価(○)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>錆びる(×)</li> <li>➡ 防食等のメンテ必要</li> <li>比較的高価(×)</li> </ul>
設 置	仕 様	埋 設	地 上
	長 所 短 所	<ul style="list-style-type: none"> <li>土工費が必要</li> <li>➡ 比較的安価(○)</li> <li>スペースが比較的制限されない</li> <li>配管が見えない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>配管ラックが必要</li> <li>➡ 比較的高価(×)</li> <li>スペースが比較的制限される</li> <li>配管が見える</li> </ul>
接 合		電気融着 ➡ 火が出ない	溶接 ➡ 火花が飛ぶ
トータルコスト		○	△

ポリエチレン管は耐食性能が優れ、腐食の心配がありません!

飲用水や工業用水、海水配管などにも最適です!

●金属管の内外面腐食



老朽鑄鉄管(100A)



外面マクロセル腐食



ボルト・ナットの外面腐食

電食なし!



塩害なし! 錆びなし!

